

2019 年度

# 芝浦工業大学大学院

## 学生募集要項

理工学研究科 博士（後期）課程

一般入試選抜

社会人特別入試選抜

社会人早期修了コース入試選抜

春期入学

芝浦工業大学大学院理工学研究科

### 【個人情報取り扱いについて】

申請書提出時に提供いただく「氏名、住所（連絡先）、その他の個人情報（以下、個人情報）」は、選考ならびに進学の決定通知・入学手続きの連絡を行うために使用いたします。

なお、申請した方の上記個人情報につきましては、入学後は入学時に提出される学生カードと併せて学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要なが生じた場合に使用します。

### 【個人情報の管理・保管について】

本学は、申請者の方々から提供を受けた個人情報を学校法人芝浦工業大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管をし、申請者の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

### 【問い合わせ：書類送付先】

〒135-8548

東京都江東区豊洲 3-7-5

芝浦工業大学 大学院・MOT 事務課

TEL：03-5859-7420

E-mail：daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

※メールをお送りになる際は、タイトルに【博士春入試】とご入力ください。

# 目次

I. 理工学研究科博士(後期)課程の案内

II. 2019年度春期入学博士(後期)課程募集要項

(一般入試選抜・社会人特別入試選抜)

III. 2019年度春期入学博士(後期)課程募集要項

(社会人早期修了コース入試選抜)

IV. 出願資格の認定について

V. 2019年度春期入学博士(後期)課程教員一覧

# I. 理工学研究科博士(後期)課程の案内

## 1. 博士(後期)課程設置の趣旨

芝浦工業大学は、1927(昭和2)年に東京の大森に設置された東京高等工商学校に始まり、まもなく現在の芝浦キャンパスの地に移転、1949(昭和24)年の学制改革で芝浦工業大学となった。現在、工学部9学科、システム理工学部5学科、デザイン工学部1学科、建築学部1学科で学部教育を行っている。

大学院理工学研究科(修士課程)は1963(昭和38)年に開設し、現在は電気電子情報工学、材料工学、応用化学、機械工学、建設工学、システム理工学、国際理工学の7専攻で教育・研究を行っている。

21世紀の高度科学技術時代に対応するためには、電気電子情報、材料、応用化学、機械、建設といった従来の基礎学問体系のみに依存する教育・研究では不十分であり、専門領域の枠を外し、ソフト、ハード両面にわたり、対象を総合的、学際的に取り扱うことのできる幅広い視野と柔軟な思考力をそなえた人材の養成が強く望まれている。このような人材を養成するためには、大学の学部や大学院修士課程の教育に加えて、高度の能力と豊かな学識を有する専門技術者および研究者の養成を目的とした大学院博士課程での教育が重要であると考えられる。

芝浦工業大学の卒業生は、大企業ばかりでなく、いわゆる中小企業にも積極的に飛び込んで、日本の高度経済成長を底辺から支えてきた。それらの企業における技術の高度化にともない、本学における技術教育に対する社会の期待は大きく、一方で、大学もしくは大学院における教育を終え、社会の第一線で活躍している技術者に対する再教育もまた重要な課題である。

芝浦工業大学は、このような観点から、1995(平成7)年、大学院工学研究科(当時)に、区分制博士課程の後期課程を設置し、修士課程における教育を基盤に、学際性に対する対応を十分に配慮しながら、それぞれの専門分野を一層深化することのできる体制を整えた。さらに、1998(平成10)年4月からは、教育・研究の一層の充実と発展を期し、専門分野と教員組織の飛躍的拡充を行った。

## 2. 人材の育成及び教育研究上の目的

大学院博士(後期)課程では、研究者ポテンシャルの向上を目指して、大学院修士課程の修了者あるいは社会の第一線で活躍している技術者を対象に、豊かな学識を有する専門技術者および研究者として育成することを目的とする。学際的観点から自己の専門分野を深めることにより、ソフト・ハード両面にわたって総合的な見地に立ち、システム全体の調和を図ることができる能力の獲得を目指す。

さらに、産業界で活躍できる博士号取得者となることのできるように、複眼的工学能力、技術経営能力、メタナショナル能力を併せ持つシグマ型統合能力人材の育成を行う。

上記の人材養成を核とする大学院博士(後期)課程における教育研究は、大学の使命である研究推進を担う中核としての役割も担う。

以上の人材養成を基礎とし、各専攻の人材開発目標を以下のように設定する。

### 【地域環境システム専攻】

都市のような限定された地域においては、人間の社会的、文化的活動が、そこでの生活環境に好ましくない影響を及ぼすことが少なくない。地域の持続的発展には、地域活動の活性化と、生活環境の保全との調和が不

可欠である。

また、その実現には、電気電子・材料・化学・機械・建設工学など、幅広い分野にわたる課題に取り組む必要がある。

地域環境システム専攻は、自らの専門分野の研究を深めると同時に、技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を洞察し、異なる専門分野の研究者が互いの情報を交換することを通じて、地域環境におけるより良い社会・文化・生活の基盤形成に寄与することを目的とする。その教育目標は、地域環境に関する幅広い視野を持ち、高い専門性を活かして、この目的を達成できる人材の育成にある。

### 【機能制御システム専攻】

20 世紀の日本は、効率性及び利便性を重視し、利益向上を求めてモノづくりに励んできた。結果として環境破壊などの矛盾を抱えるに至った。現在、これらの矛盾を解消しつつ、自動車、ロボット、エレクトロニクス、情報通信などの分野で、日本は世界をリードする技術を有している。そして、それらの技術は益々複雑化している。今後のグローバル社会において、科学技術のリーダーとして世界に貢献するには、対象を深く解析し理解する能力に加えて、複雑化する技術の全体像を掌握し、システム全体の調和を図ることの出来る高い設計能力と技術経営能力が必須となる。

例えば、東日本大震災直後に起きた原発事故では、社会における技術のマネジメント、実装と運用まで含めた社会における技術の利用に関するシステム化技術の重要性が再認識されるなど、再度実学教育を考え直す時期に来ている。これは同時に、世界的な価値観を身に付け、国際的に活躍できる研究者・技術者の育成が求められていることも意味している。

機能制御システム専攻では以上の背景の下に、グローバルな価値観を持ち、科学の真理を把握した上で実学に活かすことのできる優秀な研究者・技術者を養成するための教育研究を行うことを目的とする。本専攻は、通信機能制御、機能デバイス制御、システム制御、生命機能制御など、多くの教育研究分野を有し、学際的な教育研究を展開する。それにより、指導者の分野のみの教育研究に特化することなく、専攻全体が多様性をベースとした関連性を意識し積極的に連携しつつ、技術マネジメント基礎力や技術英語力、共通した価値観・倫理観などを兼ね備えた研究者・技術者の養成を目指す。

## 3. 理工学研究科概要

博士（後期）課程は「地域環境システム専攻」及び「機能制御システム専攻」の2専攻を置き、総合的かつ学際的な視野に立って専門分野の深化をはかる研究と教育を行う。

## 4. 学位について

博士（後期）課程の修了者には、博士（工学）または、博士（学術）の学位を授与する。

## 5. 履修について

博士（後期）課程においては、行き届いた教育・研究を行うため、各学生に対し主担当指導教員と副担当教員指導教員を充てる。具体的な研究指導科目の履修方法は以下の通り。

- (1) 学生の標準的な修業年限は3年とする。ただし、研究業績が特に優れている場合には、1年以上在学すれば学位論文の提出が可能となる。社会人早期修了コースで入学した社会人は1年とする。ただ

し1年で修了できなかった場合は、引き続き在学し、修業年限は3年間とする。また、3年未満での修了も可能とする。

- (2) 学生は一つの部門を選択・所属して、主担当指導教員及び副担当指導教員から学位論文作成、履修科目の選択など、研究全般について指導・助言を受ける。
- (3) 主担当指導教員は、学生が選択した部門の特別研究担当の教員とする。副担当指導教員は、学生が研究を実施するに当たり、適切な部門の担当教員の中から主担当指導教員が選んで委嘱するものとする。したがって、副担当指導教員は、主担当指導教員と専攻を異にする場合もあり、異なった分野からの学際的な支援を効果的に行えるように配慮する。
- (4) 学生は特別研究の他に、特論科目を少なくとも1科目履修することを原則とする。特論科目は、学生の所属する専攻以外の専攻に属する科目の中から選択することも可能とする。ただし、社会人の入学者に対しては、主担当指導教員が認めた場合、特論科目の履修を免除することがある。
- (5) 社会人については、休学、復学、退学、再入学の規定を弾力的に運用し、標準年限以上にわたる学位の取得を可能とする。

# Ⅱ. 2019 年度春期入学博士(後期)課程 募集要項

(一般入試選抜・社会人特別入試選抜)

## アドミッションポリシー

大学院博士課程では、研究推進と研究者の育成を目指して、豊かな学識を有する専門技術者及び研究者を養成することを目的としています。

そこで、つぎのような入学者を求めます。

- ・理工学研究科が掲げる理念と目的に共感するひと
- ・大学院修士課程の修了者あるいは社会の第一線で活躍しており、高度な研究推進能力あるひと
- ・創造的に新しい分野を積極的に開拓できるひと
- ・工学倫理を遵守できるひと

## 1. 専攻名および募集定員

課程名	専攻名	募集定員
博士(後期)課程	地域環境システム専攻	10名
	機能制御システム専攻	8名

※募集定員は各試験単位ではなく 2019 年度全体の定員です。

## 2. 受験区分

次のいずれかの区分で受験することができます。

### (1) 一般選抜

「3. 出願資格」に該当する者。

### (2) 社会人特別入試選抜

「3. 出願資格」に該当し、かつ、研究機関、教育機関、企業等に勤務している者で、所属長または職場において本人を熟知している指導的立場にある者の受験承諾を得た者。

※原則、在職しながら修学することとなります。

## 3. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2019 年 3 月末日までに修士の学位または専門職学位を授与される見込みの者
- (2) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2019 年 3 月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2019 年 3 月末日までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2019 年 3 月末日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2019 年 3 月末日までに

授与される見込みの者

(6) 文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）（注 1）

(7) その他、本学大学院理工学研究科委員会において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2019 年 3 月末日までに 24 歳に達する者（注 2）

注 1) 出願資格 (6) に該当するものとは、「大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」及び「外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」をいう。

注 2) 出願資格 (7) に該当する「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」の範囲は、次の①および②の要件を満たす者とする。

- ① 大学を卒業した者で、大学卒業後、3 年以上専門に関連した実務経験に就き、かつ 2 年以上研究・開発等の業務に従事した者であること。
- ② 上記以外の者については、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等の業績において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があること。

※ 出願資格 (6) および (7) の認定については、後掲「出願資格の認定について」をご参照ください。

※ 各専攻とも出願前に必ず希望する指導教員に予備的な指導を受けてください。

## 4. 入学者選考方法

### (1) 選考方法

- ① 一般選抜の受験者に対しては、提出された修士論文の写し及び、その要旨と博士(後期)課程における研究計画書に基づいて、プレゼンテーション (15 分程度) および口答試問 (15 分程度) を行います。
- ② 外国人留学生についても、一般選抜の受験者と同様とします。
- ③ 社会人特別選抜の受験者については、提出された研究業績調書、研究計画書などを中心に関連する専門分野についてプレゼンテーション (15 分程度) および口答試問 (15 分程度) を行います。

### (2) 入学試験の日時及び試験会場・合格発表等

入学試験日	試験会場・時間	合格発表	入学日
2019 年 1 月 26 日 (土)	後日、郵送で通知	2019 年 2 月 13 日 (水)	2019 年 4 月 1 日

※合格発表は、本学大学院掲示板への掲示 (13:00) と、本学ホームページへの掲載 (16:00) にて行います。

※掲示板・ホームページでは受験番号での通知となります。

※合格者の方へは、同日郵便にて合格通知書を送付致します。

※電話等による可否の問合せには応じられませんのでご了承ください。



## 5. 学費等

費目	1年次			2・3年次		
	入学時	秋期	計	春期	秋期	計
入学金	(260,000)		(260,000)			
授業料	328,900	328,900	657,800	328,900	328,900	657,800
維持料	92,000	92,000	184,000	92,000	92,000	184,000
計	420,900 (680,900)	420,900	841,800 (1,101,800)	420,900	420,900	841,800

※上記、「入学時」に記載されている金額を、入学に先立って入学手続き金としてお振り込みいただきます。

※本学卒業生の入学金は免除されます。( )内は本学卒業生以外に適用されます。

※本学卒業生以外の方であっても、血縁者2親等以内に本学卒業生がおられる場合は入学後に入学金を返還致します。対象者は入学願書の所定欄に記入してください。

## 6. 学費等納入

(1) 納入額 本学卒業生 420,900円 本学卒業生以外 680,900円

(2) 納入手続き期日 2019年2月28日(木)

(3) 納入先 シバウラコウギョウダイガク ダイガクインニューガクキングチ みずほ銀行 浜松町支店 普通 3271331 (学) 芝浦工業大学 大学院 入学金口

※振込の際の注意事項

- ①ATMから振り込むことが可能です。その場合、依頼人名は「受験番号」「志願者カナ氏名」の順に入力してください。(例:006001シバウラタロウ)
- ②窓口から振り込む場合は、各金融機関の振込用紙を利用し「電信扱」にて振り込んでください。
- ③振込手数料は、本人負担となります。
- ④振込依頼人名は、志願者本人の氏名でお願い致します。

## 7. 入学辞退

一度納入された入学料及び授業料等は返還いたしません。ただし、2019年3月末日までに入学辞退届を提出した者については、願い出により入学金を除いた納入金を返還します。本学指定の入学辞退届がございますので、該当する方は本学大学院・MOT事務課へご連絡ください。

## 8. 注意事項

- (1) 入学願書に誤って記載した場合は、2本線で訂正の上、訂正印を押印してください。修正液等の使用不可です。
- (2) 入学試験には、必ず受験票を携帯してください。
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更・返還ならびに検定料の払いもどしは応じられません。
- (4) 試験当日、交通機関等に支障をきたすような事態が生じて、受験できるよう注意ください。

## 9. 大学院理工学研究科で申請できる奨学金

### ①芝浦工業大学大学院博士（後期）課程給付奨学金（給付）

【給付金額】 本学大学院修士課程に在学し、引き続き本学大学院理工学研究科博士（後期）課程への進学を希望するものに学費相当額を給付（学費と相殺）

【給付期間】 1年間（1年ごとに継続審査を経て最大3年間）

【対象者】 学内進学者（本学修士2年生に限る）

【採用数】 若干名

【募集時期】 出願時に申請 【願書】

※募集要項および申請書をダウンロードし使用すること。募集要項をよく読み、その他提出に必要な書類を準備すること。

※奨学金募集要項は、芝浦工業大学大学院学生募集要項（当冊子）と同 URL に掲載される。

### ②芝浦工業大学大学院留学生給付奨学金（給付）

【給付金額】 ①学費相当額を給付（学費と相殺）②生活資金として文部科学省の国費外国人留学生給与相当額を支給する。

【給付期間】 3年間

【対象者】 海外の大学から本学大学院の理工学研究科博士（後期）課程に進学する者かつ在留資格が「留学」である者のうち、特に優秀であると認められた者

【採用数】 若干名

【募集時期】 出願時に申請 【願書】

※募集要項および申請書をダウンロードし使用すること。募集要項をよく読み、その他提出に必要な書類を準備すること。

※奨学金募集要項は、芝浦工業大学大学院学生募集要項（当冊子）と同 URL に掲載される。

## 10.出願手続き

### (1)出願日時・場所(一般入試選抜・社会人特別入試選抜)

日時	場所
2019年1月8日(火) ※出願資格審査対象者は個別連絡	10:00~16:00 豊洲キャンパス:大学院・MOT事務課(教室棟2階) 大宮キャンパス:大学院・MOT事務課(2号館1階 学生課内) 芝浦キャンパス:大学院・MOT事務課(1階学生課内)

### (2)提出書類

提出書類	対象者	備考
1 入学願書	全員	所定様式を使用。 <b>指導を希望する教員の承認印(またはサイン)が必要です。</b> 所定欄に写真(4cm×3cm)を添付のこと。なお、写真は上半身・脱帽・正面向き、出願3ヶ月以内に撮影したものとし、写真裏面には氏名・生年月日を記入すること。 ※当該写真は入学した場合に学生証に使用される写真となります。
2 受験票	全員	所定様式を使用。 所定欄に写真(4cm×3cm)を添付のこと。なお写真の条件は入学願書と同様。
3 成績証明書	全員	最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。 ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。
4 修了(見込)証明書	日本の大学において 修士の学位または 専門職学位を取得(見込み)の者	最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。 ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。
	上記以外の者	外国において修士の学位または専門職学位を取得した者は、それを証明する書類をご提出ください。 <b>※出願資格を満たしているかの確認を行いますので、出願資格審査受付日12月4日(火)以前に一度ご相談ください。</b>
5 推薦状 (厳封)	全員	指定様式(別添Wordファイル)もしくは自由様式を使用。ただし、自由様式の場合は、所定様式に記載されている項目をすべて含むよう作成すること。 出身大学院研究科(または学部)の指導教員または、官公庁、企業、団体等の直接の指導者が作成すること。ただし、社会人特別選抜入試の志願者の場合で、在職のまま修学を希望する場合は、現職の所属長が作成すること。
6 修士学位論文の概要	修士の学位または 専門職学位を取得(見込み)の者	修士学位論文の概要を提出。 概要の様式は自由だが、A4・2ページ以内にまとめること。 ※修了見込者については、上記の代わりに現在の研究内容の概要を提出すること。 研究内容の概要についても、様式は任意。ただしA4・2ページ以内でまとめること。
	上記以外の者	専門に関連した自身の取り組みについて記載した小論文を提出すること。 様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。
7 研究計画書	全員	様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。
8 研究業績調書	全員	所定様式を使用。(別添Excelファイル)
9 入学検定料 (35,000円)	一般入試選抜	各キャンパスの証明書自動発行機より支払い、支払い後に発行される「大学院入学検定料の申請書(青紙)」を提出。 ※キャンパスへ来校できない場合は、郵便為替での支払いも可能。郵便為替(無記名:35,000円)を郵便局で購入し、出願書類と共に郵送下さい。【※1】
	社会人特別入試選抜	提出不要(社会人特別入試選抜は入学検定料は無料)
10 TOEIC®等の外部英語テストのスコア	全員	TOEFL®、TOEIC®、IELTS™等の外部英語テストの公式スコアシートの写しを提出すること。(それ以外の外部英語テストのスコアを提出する場合は事前に要相談)
11 パスポート及び 在留カード	外国人志願者のみ	パスポートの写し(本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分)と在留カードの写し(裏表)を提出。在留カードは外国人登録証明書で代替可。

#### ※1【郵送で提出する場合の注意】

- ・封筒には「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」にて、出願日までに必着で送付すること。
- ・封筒には、出願書類一式に加え「返信用封筒」(住所・氏名を明記し、82円切手を添付)を必ず同封すること。(受付票を返送するため)

# Ⅲ. 2019 年度春期入学博士(後期)課程 募集要項

## (社会人早期修了コース入試選抜)

本大学院は、一定の研究業績をもつ社会人を対象とした「早期修了コース」を、産官学連携による技術開発・研究の高度化を念頭におき、優れた研究能力を有する研究者・技術者の輩出を促進する目的で導入し、社会人早期修了コース入試選抜を実施いたします。

### 1. 研究科専攻および募集人数

研究課名・課程名	専攻名	募集人員
理工学研究科 博士(後期)課程	地域環境システム専攻	若干名
	機能制御システム専攻	若干名

### 2. 出願資格

一般選抜の出願要件を満たし、かつ下記の要件をすべて満たす一定の研究業績を有する社会人とする。

- (1) 修士課程修了者で、3年以上の業務経験を有する者
- (2) 論文(査読付き)を2編以上有する者。

### 3. 修業年限

修業年限は1年間とする。

ただし、1年で修了できなかった場合は、引き続き在学し、修業年限は3年間とする。

3年未満での修了も可能とする。

### 4. 早期修了に必要な条件

下記の条件を全て満たすこと。

- ・学位論文の内容に関わる第1著者または第2著者の査読付き論文3編(掲載許可を含む)以上を有すること。ただし、最低1編の第1著書の論文を含むこと。
- ・在学中に発表者として国際会議論文1編(査読無し可)以上を有すること。
- ・予備審査と最終審査に合格すること。

### 5. 入学者選考方法、合格発表、学費、入学辞退、注意事項等

「2019年度春期入学博士(後期)課程 募集要項(一般入試選抜・社会人特別入試選抜)」の同項目を参照してください。

## 6. 出願手続き

### (1) 出願期間等(社会人早期修了コース)

日時	場所
2019年1月8日(火) 10:00~16:00 ※出願資格審査対象者は個別連絡	豊洲キャンパス: 大学院・MOT事務課(教室棟2階) 大宮キャンパス: 大学院・MOT事務課(2号館1階 学生課内) 芝浦キャンパス: 大学院・MOT事務課(1階学生課内)

※出願資格審査の対象者へは、別日程を個別にご連絡します。

### (2) 提出書類

提出書類	対象者	備考
1 入学願書	全員	所定様式を使用。 <b>指導を希望する教員の承認印が必要です。</b> 所定欄に写真(4cm×3cm)を添付のこと。なお、写真は上半身・脱帽・正面向き、出願3ヶ月以内に撮影したものとし、写真裏面には氏名・生年月日を記入すること。 ※当該写真は入学した場合には学生証に掲載される写真となります。
2 受験票	全員	所定様式を使用。 所定欄に写真(4cm×3cm)を添付のこと。なお写真の条件は入学願書と同様。
3 成績証明書	全員	最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。 ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。
4 修了証明書	日本の大学において 修士の学位または 専門職学位を取得(見込 み)の者	最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。 ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。
	上記以外の者	外国において修士の学位または専門職学位を取得した者は、それを証明する書類を提出ください。 <b>※出願資格を満たしているかの確認を行いますので、出願資格審査受付日12月4日(火)以前に一度ご相談ください。</b>
5 推薦状 (厳封)	全員	指定様式(別添Wordファイル)もしくは自由様式を使用。ただし、自由様式の場合は、所定様式に記載されている項目をすべて含むよう作成すること。 官公庁、企業、団体など在职のまま修学を希望する場合は、現職の所属長が作成すること。
6 修士学位論文概要	全員	様式は自由。ただしA4・2ページ以内にまとめること。
7 研究計画書	全員	様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。
8 研究業績調書	全員	所定様式を使用。(別添Excelファイル)
9 業績要約書 および業績を裏付ける資料	全員	所定様式を使用。(別添Excelファイル) 社会人早期修了コースの出願資格(2)(査読付き論文2編以上)に該当する業績の要約を記入し提出。また、その業績を裏付ける資料を提出すること。
10 小論文	全員	様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。 専門に関連した自身の取り組みについて記載した小論文を提出すること。
11 入学検定料 (無料)	全員	社会人早期修了コースは入学検定料は無料のため、提出不要です。
12 TOEIC®等の外部英語 テストのスコア	全員	TOEFL®、TOEIC®、IELTS™等の外部英語テストの公式スコアシートの写しを提出すること。(それ以外の外部英語テストのスコアを提出する場合は事前に要相談)
13 パスポート及び 在留カード	外国人志願者のみ	パスポートの写し(本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分)と在留カードの写し(裏表)を提出。在留カードは外国人登録証明書で代替可。

#### ※1 【郵送で提出する場合の注意】

- ・封筒には「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」にて、出願日まで必着で送付すること。
- ・封筒には、出願書類一式に加え「返信用封筒」(住所・氏名を明記し、82円切手を添付)を必ず同封すること。(受付票を返送するため)

## IV. 出願資格の認定について

出願資格（6）または（7）に該当する出願者については、次の要領で出願資格の事前審査を行います。  
（その他の出願資格で出願する場合は審査不要です）

### 【提出書類】

- ① 出願資格審査申請書（所定様式）
- ② 業績要約書（自由様式。ただしA4サイズ縦にて作成のこと）
- ③ 上記業績を裏づける資料，論文等（コピー可）
- ④ 入学願書（所定様式）
- ⑤ 小論文（自由様式。ただし専門分野に関する自身の取り組みについて記載すること。）
- ⑥ 最終学歴の成績証明書
- ⑦ 最終学歴の卒業証明書

出願期間	受付時間	提出場所
12月4日（火）	10：00～16：00	豊洲校舎 大学院・MOT 事務課

（注）郵送による場合は、「博士課程出願資格審査書類在中」と朱書きし、書留郵便として上記期日までに必着でご送付ください。その際、返信用封筒を同封してください。

事前審査は、提出書類および面接等によって実施します。

出願資格審査日	試験会場・日時	審査結果の発表
12月20日（木）	後日、郵送で通知	1月16日（水）

- ※ 大学を卒業していない者については、必要に応じ筆記試験を実施します。
- ※ 審査料はいただきません。ただし、本試験においては本学所定の検定料がかかります。
- ※ 審査結果の発表と同時に受験許可書を送付します。受験許可書は出願時に必要となります。

整理番号	
------	--

2019年度 春期入学 芝浦工業大学大学院博士（後期）課程  
入学試験

出願資格審査申請書

芝浦工業大学長 殿

年 月 日

フリガナ

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊟  
年 月 日生

私は、貴大学大学院理工学研究科博士（後期）課程\_\_\_\_\_専攻に、学生募集要項の「3.出願資格」の（6）、（7）により出願したいので、下記のとおり必要書類を添えて、出願資格の審査を申請します。

記

1. 提出書類等

- ① 出願資格審査申請書（所定様式）
- ② 業績要約書（自由様式。ただしA4サイズ縦にて作成のこと）
- ③ 上記業績を裏づける資料，論文等（コピー可）
- ④ 入学願書（所定様式）
- ⑤ 小論文（自由様式。ただし専門分野に関する自身の取り組みについて記載すること。）
- ⑥ 最終学歴の成績証明書
- ⑦ 最終学歴の卒業証明書

2. 本人連絡先 〒 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

住所 \_\_\_\_\_

以上

# V. 2019年度春期入学博士(後期)課程 教員一覧

※備考欄に◎の付いている指導教員は、原則として社会人早期修了コース入試選抜においてのみ出願可能ですが、一般入試選抜、社会人特別入試選抜コースであっても、指導教員の指定する副指導教員をたてることにより出願可能です。

## <地域環境システム専攻> 研究指導分野・研究指導科目及び担当教員

分 野	研 究 指 導 科 目	教 員 名	備 考
地 域 環 境 計 画	地 域 環 境 計 画 特 別 研 究 (研究指導)	篠 崎 道 彦 稲 積 真 哉 村 上 公 哉 岩 倉 成 志 藤 澤 彰 赤 堀 忍 子 伊 藤 洋 子 西 村 直 也 堀 越 英 嗣 志 村 秀 明 南 蟹 一 誠 蟹 澤 元 宏 秋 元 孝 剛 中 桑 口 博 遠 藤 仁 椛 山 玲 谷 口 健 二 前 田 大 造 並 河 寿 努 古 屋 浩 身 郷 田 修 郁 清 水 郁 英 澤 中 村 仁 原 田 真 宏 西 沢 大 良 栗 島 英 明 宮 本 仁 志 中 川 雅 史 佐 藤 宏 亮 作 山 康 哉 志 手 一 哉 増 田 幸 宏 鈴 木 俊 治 磐 田 朋 子 平 林 由 希 子	◎ ◎ ◎  ◎  ◎  ◎
環 境 材 料 工 学	環 境 材 料 工 学 特 別 研 究 (研究指導)	高 崎 明 人 村 上 雅 人 大 石 雅 司 正 留 隆 中 村 朝 夫 今 林 慎 一 野 田 和 彦 永 直 文 山 下 光 雄 北 川 理 松 村 一 成 莉 谷 義 治 野 村 幹 弘 古 賀 純 子 新 井 剛 木 戸 脇 匡 俊 清 野 匡 肇 田 嶋 稔 樹 幡 野 稔 明 小 西 利 彦 坂 上 賢 史 橋 村 真 一 治	◎ ◎



# V. 2019年度春期入学博士(後期)課程 教員一覽

※備考欄に◎の付いている指導教員は、原則として社会人早期修了コース入試選抜においてのみ出願可能ですが、一般入試選抜、社会人特別入試選抜コースであっても、指導教員の指定する副指導教員をたてることにより出願可能です。

分野	研究指導科目	教員名	備考
環境材料工学	環境材料工学特別研究 (研究指導)	宇都宮 登 雄 ミリアラ ムラリダ 山 本 文 子 堀 顕 子 濱 崎 仁 道 坂 井 直 道 池 上 大 祐 カメラア ミロン ミハエル ルドルフ コフリシュカ パオロ メレ	
エネルギー環境工学	エネルギー環境工学特別研究 (研究指導)	入 倉 隆 西 川 宏 之 矢 作 裕 司 山 田 純 角 田 和 巳 田 中 耕 太 郎 藤 田 吾 郎 松 本 聡 小 野 直 樹 君 島 真 仁 斎 藤 寛 泰 丹 下 学 諏 訪 好 英 石 井 康 之	◎
環境防災工学	環境防災工学特別研究 (研究指導)	勝 木 太 限 澤 文 俊 紺 野 克 昭 穴 見 健 吾 岸 田 慎 司 伊 代 田 岳 史 土 方 勝 一 郎 石 川 裕 次 小 澤 雄 樹	◎
先端マネジメント工	先端マネジメント工学特別研究 (研究指導)	田 中 秀 穂 平 田 貞 代 中 村 潤	



# V. 2019年度春期入学博士(後期)課程 教員一覽

※備考欄に◎の付いている指導教員は、原則として社会人早期修了コース入試選抜においてのみ出願可能ですが、一般入試選抜、社会人特別入試選抜コースであっても、指導教員の指定する副指導教員をたてることにより出願可能です。

<p>制 御 工 学</p>	<p>(研究指導)</p>	<p>高見弘 松浦江子 長谷川浩志 長谷川忠大明 島田大明 春日伸予 安齋正博 佐伯暢人 伊藤藤和寿 赤津村観 内村昌裕 木村昌臣 吉見浩卓 福田浩章 安藤吉伸 細矢直基 松日楽信人 武藤正義 小福山友介 福龜子希子 翟正貴喜 鈴木達夫 竹内慎吾 山崎敦子 石米渡哲哉 菅谷俊一 伊東敏夫 尾崎克久 井尻敬太 清清水創 長澤純太 澤山浩一 山孫子司 中島毅 野田夏子 廣瀬敏也 飯塚浩二郎</p>	<p>◎</p> <p>◎</p>
<p>生 命 機 能 学 制 御 工 学</p>	<p>生 命 機 能 制 御 工 学 特 別 研 究 (研究指導)</p>	<p>吉濱靖男 花房啓彦 山本昭太 越阪部創美 福井浩二 布施博之 須原義智 渡邊宣夫 加納慎一郎 吉村建二郎 二井信行 赤木亮太</p>	

# 提出様式集

(A 4 で印刷して下さい)

# 2019年度(春期入試) 芝浦工業大学大学院理工学研究科 博士(後期)課程 入学願書

## 【1】 - 出願者情報

受験番号

※大学使用欄

### 1. 本人情報

※本学卒業生/在学生の方のみ 学籍番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ふりがな \_\_\_\_\_

英字氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ 歳)

国籍 \_\_\_\_\_ 性別  男  女

※外国籍の方のみ 在留資格 \_\_\_\_\_ 在留資格の期限 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

※血縁者2親等以内に本学卒業生がいますか?  はい (続柄 \_\_\_\_\_)  いいえ

### 2. 住所情報

郵便番号 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

日中連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

Email \_\_\_\_\_



## 【2】 - 出願先情報

### 1. 受験区分

一般入試選抜	社会人特別入試	社会人早期修了コース
--------	---------	------------

指導教員サイン欄

### 2. 志願先専攻

地域環境システム専攻	機能制御システム専攻
------------	------------

3. 指導教員名\* \_\_\_\_\_ 副指導教員名\*\* \_\_\_\_\_

4. 研究指導名\* \_\_\_\_\_

\* この欄は「V. 2019年度春期入学博士(後期)課程 教員一覧」を参照して記入すること。

\*\* 「V. 2019年度春期入学博士(後期)課程 教員一覧」の備考欄に◎のある指導教員に出願する場合のみ記入すること。

## 【3】 - 経歴

### 1. 学歴 (書き切れない場合は別紙に記入)

種別	学校名	学部 / 研究科 ※高校は未記入可	学科 / 専攻 ※高校は未記入可	入学 (年/月)	卒業(見込) (年/月)
高校					
大学					
大学院					
その他					

### 2. 職歴 (書き切れない場合は別紙に記入)

企業・団体名等	役職	期間 (年/月 - 年/月)

上記の通り相違ありません。

日付: \_\_\_\_\_

署名: \_\_\_\_\_ 印

2019 年春期  
大学院理工学研究科 博士（後期）課程  
受験票

受験番号	※大学使用欄
ふりがな	
氏名	
受験区分	※受験する区分に○を付けてください 一般 ・ 社会人特別 ・ 社会人早期修了
志望専攻	※受験する専攻に○を付けてください 地域環境システム専攻 ・ 機能制御システム専攻
志望指導教員名	

写真 正面上半身脱帽 最近3ヵ月以内に 撮影のもの 4cm×3cm
---

# 推薦状

## Recommendation

入学志願者 / Applicant's Name \_\_\_\_\_

記入年月日 / Date \_\_\_\_\_

推薦者 所属・職名 / Affiliation・Title \_\_\_\_\_

氏名 / Name of Recommender \_\_\_\_\_

署名・印 / Signature \_\_\_\_\_

入学志願者の研究内容、能力、性格等について記入してください。

Remarks on the applicant's research, ability, personality etc.

1 ページ以内でご記入ください。

Please fill in within one page.

## 研究業績調書 / Research Achievements

氏名 / Name	
--------------	--

## 1. 主要な研究業績・・・査読論文、学会発表、専門著書/翻訳（単行本）、作品 など。

/ Major Research Achievement are Peer-reviewed Journal, Professional Book/Translation and Work.

※区分は「論文」、「国際会議（査読有無）」、「国内会議（査読有無）」、「作品・制作」、「著書」、「解説」のいずれかをご記入下さい。

Please select category from "Journal Paper", "International Conference (peer-reviewed or non-reviewed)", "Domestic Conference (peer-reviewed or non-reviewed)", "Work", "Book", or "Explanation"

発表年月 Date (yyyy/mm/dd)	区分 Category	題目 Title	発表媒体 Media (学会/学術誌名) (Host Agency/Name of Publication) 巻・号・頁(Vol. No, Page)	発表者名（発表順） Co-author (In the order described)

## 2. 特許・発明 / Patent・Invention

出願または公開年月 Date of Application or Publication (yyyy/mm/dd)	特許番号 Patent No.	特許・発明の名称 Name of Patent or Invention	発明者 Inventor	出願人 Applicant

守秘義務がある場合は、発明者：本人，他とし、出願人の記載は不要

If there is a confidentiality obligation, please write your name in Inventor, and there is no need to fill Applicants.

## 2. 受賞 / Awards

受賞日 Date of Award (yyyy/mm/dd)	受賞の名称 Title of Awards

業績を所定の欄に書き切れない場合は、別紙におまとめください。/ If there is not enough space for your research achievements, please submit additional list (Free format).



## 業績要約書（社会人早期修了）

志望 専攻	専攻	希望する分野 及び指導教員	先生	氏 名	
----------	----	------------------	----	--------	--

◎出願資格（2）が確認できる業績の要約を記入

(1)	論文(査読付)名称	
要 約		
(2)	論文(査読付)名称	
要 約		
(3)	論文(査読付)名称	
要 約		

1 ページ以内で記入してください。